

## 切っ子

第8号



学校目標 「自ら気づき 考え 実行する」子どもの育成

文責 菊池 典男

## ◆ 子どもが輝いていた研究発表会！！

10月23日（金）に研究発表会がありました。本校は令和元年より2年間、佐賀県教育委員会より「小中連携による学力向上推進地域指定事業」の研究指定を受け、高峰中学校区内で連携を図りながら「授業と連動した家庭学習」について研究を推進しております。「授業で学んだことを家庭学習に生かす。家庭で学んだことを授業に生かす。」というように、授業と家庭学習が往還するような手立てをとり、学習意欲を高めながら、自ら学習に取り組める子どもたちの育成に努めています。コロナ禍の影響で人数を制限しての限定的な研究発表会でしたが、唐津市教育長様をはじめ、県内から20名以上の先生方が参加されました。

授業を公開したのは1年生と6年生です。1年生は国語で「くじらぐも」の音読を言葉や文、挿絵から場面の様子を想像し、元気いっぱい工夫して音読をすることができました。6年生は社会で「江戸幕府と外国の交流」を資料から多面的に読み取り、鎖国後にも外国との交流が長崎や限られた藩で行われていたこと、そのことで得られる莫大な利益やさまざまな情報によって江戸幕府の政権安定につながっていたことを友達と意見を交流させながら理解を深めることができました。



## ◇ 思いやりいっぱいの切木小にしよう！！

11月11日（水）に代表委員会がありました。議題は「切木小学校をもっと思いやりのある学校にするための活動をしよう」です。提案理由の中に、「友達のいいところを見つけて、仲の良い、思いやりいっぱいの切木小になるための活動や、取組をしたいと考え提案します」とあります。仲が良く、思いやりいっぱいになれば、もっと素敵な切木小学校になると思います。話し合いでは、

- ① 全校で遊ぶ。
- ② 校区内のゴミ拾いを行う。
- ③ 思いやりのある言動をした児童を掲示する。

の3つの活動を行うことになりました。これらの取組を通じて、思いやりいっぱいの切木小学校になることを楽しみにしています。

また、11月は全校で「やさしい言葉かけ」の学習をしています。子どもたちは学校生活等で、心が元気になる言葉かけを友達や先生からされた経験があります。例えば、感謝の言葉である「ありがとう」や「助かったよ」、ほめる言葉である「すごいね」や「えらかったね」、励ます言葉である「がんばれ」や「きっとできるよ」、心配する言葉である「だいじょうぶ」や「元気ないね」などです。子どもたちには、人の心を元気にするような言葉かけができる人に育ってほしいと思います。学習では、リレーで1位だったのにバトンを落としてしまって最下位になってしまったという場面を設定しました。子どもたちはバトンを落としてしまった友達にやさしい言葉をかけ



る学習をしました。

この学習のポイントは3つあります。一つ目は、相手に近づいて声をかけること。二つ目は、相手を見て声をかけること。三つ目は、やさしい言葉をかけることです。子どもたちは、3つのポイントに気を付けながら、「元気ないね」や「だいじょうぶ」、「練習がんばっていたのね」、「今度はがんばろうね」と落ち込んでいる子どもの心を元気にする言葉かけをしていました。見ていて感心したのは、言葉をかけるときに肩を軽くたたきながら声をかけている子どもが少なからずいたことです。やさしさや思いやりをとて感じる場面でした。言葉は相手に対して「花束」にもなるし、「ナイフ」にもなります。子どもたちには相手に「花束」を渡せるやさしい人に育ってほしいと思います。



#### ◇ 防煙教育で喫煙の健康上の問題について理解を深めました！

11月17日(火)の3時間目に、6年生を対象とした防煙教育の授業がありました。講話していただいたのは、学校薬剤師の辻 省治郎先生です。パワーポイントを使用して、グラフや写真等を提示しながら喫煙がもたらす健康上のリスクを分かりやすく説明してくださいました。子どもたちは喫煙者だけでなく周りの人にも健康上悪影響を与える受動喫煙の話や喫煙をしていた人の黒く染まった肺等の写真を熱心に視聴していました。

6年 出 鈴さん

僕は、今日の防煙教室で、タバコの害や吸う人の死亡率、すってやめられなくなった人の肺などのショッキングな画像を見ました。大人になってだれかに「ちょっとタバコすってみようぜ」などと言われても断ることと、相手に注意までできるようになりたいと思いました。(後略)



#### ◇ おめでとう！唐津市教育長表彰！！

6年生の柴田皓成さんが、昨年度の切木地区清掃ボランティア活動の後から、ほぼ毎日続けている登校時のゴミ拾いが認められ、唐津市教育長表彰をいただきました。

皓成さんが続けてくれた活動が少しずつ実を結び、見習ってゴミを拾ってくる子どもも増えてきました。これからも、地域環境の美化保全に関心をもつ子どもたちが増えてくれればうれしいですね。



#### ◇ めざせ、いじめゼロ！人権集会がありました！！

10月22日に文部科学省から、令和元年度のいじめ件数が過去最高の約61万件であり、昨年度より約7万件増加しているという報道がありました。人権教育の一層の推進が求められています。本校では、11月18日(水)に全校人権集会を行いました。人権擁護委員の伊藤 寛さんと井上 美由樹さんを招いて、「いじめ」についての理解を深めました。「プレゼント」というアニメを全校で視聴し、いじめている人の気持ちや、いじめられている人の気持ちを考え、「相手の気持ちを考えて、発言したり行動したりすること」の大切さを学びました。

